

# 子ども総合計画策定に係る アンケート調査の概要について

平成27年5月19日

青森市健康福祉部子どもしあわせ課

## 実施の目的

- 1 新たな子ども総合計画（H28年度～H32年度）の策定にあたり、急速な少子高齢化の進行、家庭及び地域を取り巻く環境の変化に対応した次世代育成支援対策を総合的かつ継続的に推進するために、市民ニーズを把握・分析し、新計画に反映させる。
- 2 現行の子ども総合計画策定時に行っているアンケート調査結果との経年比較を行い、時代の変化等に伴う市民ニーズの現状分析に活用する。
- 3 市の施策や事業等の指標及び目標値等の設定に活用する。

# 子ども総合計画策定に係るアンケート調査の概要

## 調査の概要

- 1 調査期間 平成27年6月中旬～平成27年7月中旬を予定
- 2 調査対象 調査対象を6種類に分類し、アンケート調査を実施

	現行計画策定時の調査対象(H22)
①	就学前児童の保護者
②	小学校1年生～3年生児童の保護者
③	小学校 <u>5年生</u> ～6年生の児童
④	中学校1年生～ <u>中学校3年生</u> の生徒
⑤	地域・子ども関連団体等
⑥	保育所(園)・幼稚園、学校



	新計画策定に係るアンケート調査対象
①	就学前児童の保護者
②	小学校1年生～3年生児童の保護者
③	小学校 <u>4年生</u> ～6年生の児童
④	中学校1年生～ <u>高校3年生</u> の生徒
⑤	地域・子ども関連団体等
⑥	認定こども園・幼稚園・保育所(園)、学校

※H22調査時との経年比較等を考慮し、概ね同じ調査対象とする。

# 子ども総合計画策定に係るアンケート調査の概要

## 調査の概要

### 3 対象数 約5,000件

	アンケート調査対象者	対象者数	備考
①	就学前児童の保護者	2,000	【送付先】 対象年齢毎の人口に応じ、住民基本台帳から等間隔無作為抽出した児童の保護者に送付
②	小学校1年生～3年生児童の保護者		
③	小学校4年生～6年生の児童	2,000	【送付先】 対象年齢毎の人口に応じ、住民基本台帳から等間隔無作為抽出した児童・生徒に送付
④	中学校1年生～高校3年生の生徒		
⑤	地域・子ども関連団体等の代表者	759	【送付先】 ・小、中学校PTA会長 ・主任児童委員 ・子育てサークル、子育て支援関連団体 ・子ども会 ・町(内)会 ・地域子育て支援センター ・放課後児童会 ・放課後子ども教室 ・児童館、児童室
⑥	認定こども園・幼稚園・保育所(園)、 学校の代表者	222	【送付先】 認定こども園、幼稚園、保育所(園)、認可外保育施設、小学校、中学校、高等学校、特別支援学校

## 調査の概要

### 4 対象数の根拠(①、②⇒2,000人 ③、④⇒2,000人)

対象者①～④の対象者数(標本数)の算定については、青森市市民意識調査と同様に「標本調査」によることとする。

対象を①、②の就学前から小学校3年生までの児童数と③、④の小学校4年生から高等学校3年生までの児童・生徒数の2つに区分し、アンケート回収率をH25年度に実施した「子ども・子育て支援に関するニーズ調査」時の回収率(53.1%)と同じ率を設定し、対象者数(標本数)を算定したものである。

【参考】標本調査による標本数積算式

$$\text{標本サイズ} \geq \frac{\text{母集団サイズ}}{\left(\frac{\text{誤差の最大値}}{\text{信頼度係数}}\right)^2 \times \frac{\text{母集団サイズ} - 1}{\text{母比率} \times (1 - \text{母比率})} + 1}$$

※標本調査・・・ある集団の中から一部の調査対象を選び出して調べ、その情報を基に、元の集団全体の状態を推計するもの。

# 子ども総合計画策定に係るアンケート調査の概要

## 調査の概要

※対象者数2,000人(①、②)の積算

$$\text{式} \Rightarrow \text{標本サイズ} \geq \frac{\text{母集団サイズ}}{\left(\frac{\text{誤差の最大値}}{\text{信頼度係数}}\right)^2 \times \frac{\text{母集団サイズ} - 1}{\text{母比率} \times (1 - \text{母比率})} + 1}$$



	就学前～小学校3年生までの対象年齢児童数(保護者)	
母集団数	19,499	→ ※ H27.3末時点の0～8歳児の人数
母比率	0.5	※ 標本数が多い方が安全であり、必要標本数最大値は50%
誤差の最大値(信頼区間の幅)	0.03	※ 通常の調査では±3%を使うことが多い
信頼度係数	1.96	
標本数(必要数)	1,012	
想定回収率	0.531	→ ※ 子ども・子育て支援ニーズ調査回収率
標本数(配布数)	1,906	
	↓	
	調査標本数	
	2,000	

# 子ども総合計画策定に係るアンケート調査の概要

## 調査の概要

※対象者数2,000人(③、④)の積算

$$\text{式} \Rightarrow \text{標本サイズ} \geq \frac{\text{母集団サイズ}}{\left(\frac{\text{誤差の最大値}}{\text{信頼度係数}}\right)^2 \times \frac{\text{母集団サイズ} - 1}{\text{母比率} \times (1 - \text{母比率})} + 1}$$



	小学校4～高校3年生までの対象年齢児童数		
母集団数	23,717	→	※ H27.3末時点の9～17歳児の人数
母比率	0.5		※ 標本数が多い方が安全であり、必要標本数最大値は50%
誤差の最大値(信頼区間の幅)	0.03		※ 通常の調査では±3%を使うことが多い
信頼度係数	1.96		
標本数(必要数)	1,021		
想定回収率	0.531	→	※ 子ども・子育て支援ニーズ調査回収率
標本数(配布数)	1,923		
	↓		
	調査標本数		
	2,000		

## 調査の概要

### 5 調査方法

調査対象の区分に応じたアンケート調査票を送付し、同封した返信用封筒による郵送での回答。(無記名)





## 子育て世代(保護者)に対するアンケート調査について

### ○対象者

- ①就学前児童の保護者
- ②小学校1年生～3年生児童の保護者

### ○子育て世代(保護者)を対象にアンケート調査を行う意義

父母、その他の保護者が子育てについての第一義的責任を有するという認識の下で、子育て家庭の生活実態や子育て支援に係るサービス利用者の多様なニーズに対し、柔軟に対応できるように、サービス利用者の視点に立った取組や子育てを行う保護者等の仕事と生活(子育て)との調和の実現に向けた取組が重要であると考えるため。

### ○設問(案)

①就学前児童の保護者

②小学校1年生～3年生児童の保護者

#### 1 児童の年齢(学年)、性別

①は、年齢。②は学年。性別は①、②共通

# アンケート調査項目の概要について

## 子育て世代(保護者)に対するアンケート調査について

①就学前児童の保護者

②小学校1年生～3年生児童の保護者

### 2 理想の子どもの数・現実の子どもの数について

理想とする子ども数や現実に予定している子ども数、理想と現実の差異の理由についての設問。

⇒ 上記設問により、子育て世代における理想と現実の子どもの人数、理想としている人数より現実は少ない場合の理由を把握・分析し、子どもを生み育てやすい環境づくりに向けた対策の検討に資するため。

### 3 認定こども園・幼稚園・保育所・認可外保育施設及び放課後児童会・放課後子ども教室のサービスの満足度

①は、認定こども園・幼稚園・保育所・認可外保育施設についての満足度。②は放課後児童会・放課後子ども教室別の利用及び満足度についての設問。

⇒ 上記設問により、子育て世代における仕事と子育ての両立を支援するためのサービスの提供について、利用者の満足度の把握・分析に資するため。

### 4 母子の健康について【①就学前児童の保護者のみ】

健康診査(4か月児、1歳6か月児、3歳児)の満足度、子どものはみがき回数やむし歯予防についての設問。

⇒ 母性並びに乳児及び幼児等の健康の確保及び増進を図るために、上記設問により健康診査に係る満足度等を把握し、今後の事業等の実施に役立てるため。

# アンケート調査項目の概要について

## 子育て世代(保護者)に対するアンケート調査について

①就学前児童の保護者

②小学校1年生～3年生児童の保護者

### 5 子育てについて

子育ての所感、子育てに関する悩みや気になること、子育てに関する不安や悩みの相談相手、子育てするうえで心がけていること、家庭での食事についての設問。

⇒ 子育ての孤立化等の問題を踏まえ、上記設問により子育てに係る不安や悩み、ニーズ等を把握し、企業や地域社会等と連携した支援等に資するため。

### 6 子どもの学校生活について【②小学校1年生～3年生児童の保護者のみ】

対象者の子どもの学校生活について、気になることについての設問。

⇒ 上記設問により、子育て世代からの見た子どもの学校生活に係る不安等を把握・分析し、子どもの心身の健やかな成長に資する教育環境の整備の推進に資するため。

### 7 地域での子育て環境について

子どもの遊び場について感じていること、子育てするうえで地域に期待することについての設問。

⇒ 上記設問により、子育て世代の地域における遊び場等のニーズを把握・分析し、子育てを支援する生活環境の整備の推進に資するため。

# アンケート調査項目の概要について

## 子育て世代(保護者)に対するアンケート調査について

### ①就学前児童の保護者

### ②小学校1年生～3年生児童の保護者

#### 8 仕事と生活の調和(ワーク・ライフ・バランス)について

生活の中での「仕事」、「家庭生活」、「地域・個人の生活」の優先度。男女がともに「子育てをしながら働き続ける」ために必要な支援についての設問。

⇒ 上記設問により、子育て世代における仕事と生活(子育て)の両立に必要な支援に関するニーズ等を把握・分析し、職業生活と家庭生活との両立の推進に資するため。

#### 9 初期救急医療体制について

子どもが急な病気になったときの初期対応やその際利用したことのある救急医療施設、「こども救急電話相談」の認知度についての設問。

⇒ 上記設問により、急な子どもの病気やけがが発生した際に、実際にどのような対応をしているかを把握・分析し、安心して子育てができるよう、初期救急医療体制及び今後の地域医療の推進に資するため。

#### 10 子どもが病気の際の対応について【①就学前児童の保護者のみ】

対象者の子どもが病気の際の対応方法及び利用できる市のサービスの認知度についての設問。

⇒ 上記設問により、子どもが病気の際に利用できるサービスについてのニーズ等を把握・分析し、今後の事業等の推進に資するため。

# アンケート調査項目の概要について

## 子育て世代(保護者)に対するアンケート調査について

①就学前児童の保護者

②小学校1年生～3年生児童の保護者

### 11 子どもの読書への関わり方について

普段、子どもが読んでいる本の冊数や子どもが本に触れる機会についての設問。

⇒ 上記設問により、読書に関するよりきめ細かいニーズを把握・分析し、効果的な読書に関する事業等の推進に資するため。

### 12 「青森市子どもの権利条例」等について

⇒ 上記設問により、権利条例、相談センターの認知度について把握・分析し、今後の普及啓発や目標値の設定等に活用するため。

### 13 行政サービスへ期待することについて(自由記載)

子ども支援・子育て支援に関する意見・要望等についての設問。



## 子どもに対するアンケート調査について

### ○対象者

- ③小学校4年生～6年生の児童
- ④中学校1年生～高校3年生の生徒

### ○子どもを対象にアンケート調査を行う意義

子ども・子育てに関する支援サービス等により、影響を受けるのは多くは子ども自身であることから、子どもの幸せを第一に考え、子どもの利益が最大限に尊重されるよう配慮した取組が重要であると考えするため。

### ○設問(案)

③小学校4年生～6年生の児童

④中学校1年生～高校3年生の生徒

#### 1 児童・生徒の学年、性別

#### 2 家族とのことについて

家族との会話時間、会話の相手や内容、家族と一緒にとる食事についての設問。

⇒ 上記設問により、家庭内での家族との関わり等について把握・分析し、子どもの健全育成や豊かなつながりの中での家庭教育への支援の推進に資するため。

# アンケート調査項目の概要について

## 子どもに対するアンケート調査について

③小学校4年生～6年生の児童

④中学校1年生～高校3年生の生徒

### 3 児童・生徒の悩みや将来の夢などについて

悩みごとの内容や相談相手、将来やってみたいことや夢等についての設問。

⇒ 上記設問により、子どもが抱える不安や悩み、将来の夢等を把握・分析し、豊かな心の育成や子どもの心身の健やかな成長に資する教育環境の整備等に資するため。

### 4 学校のことについて

学校での楽しいことや嫌なこと、学校で学びたいことや身につけたいことについての設問。

⇒ 上記設問により、子どもたちのニーズを把握・分析し、学校生活での確かな学力の向上や豊かな心の育成、健やかな体の育成や信頼される学校づくりに資するため。

### 5 地域のことについて

自宅周辺(学区内)での遊べる場所や地域活動経験の有無についての設問。

⇒ 上記設問により、地域における遊び場や地域活動との関わり等について把握・分析し、地域社会全体で子どもの安全を見守る環境の整備や地域の教育力の向上等に資するため。

# アンケート調査項目の概要について

## 子どもに対するアンケート調査について

③小学校4年生～6年生の児童

④中学校1年生～高校3年生の生徒

### 6 読書について

1ヵ月に読む本(まんが・電子書籍を含む)の平均冊数及び読書本の入手方法、いつ本を読むのかについての設問。

⇒ 上記設問により、読書に関するよりきめ細かいニーズを把握・分析し、効果的な読書に関する事業等の推進に資するため。

### 7 「青森市子どもの権利条例」等について

「青森市子どもの権利条例」、「青森市子どもの権利相談センター」の認知度についての設問。

⇒ 上記設問により、権利条例、相談センターの認知度について把握・分析し、今後の普及啓発や目標値の設定等に活用するため。

### 8 関心のあることや気になることについて

日常生活の中で、関心のあること、感じること、気になることの有無についての設問。

⇒ 上記設問により、子どもたちの関心について把握・分析し、市の今後のまちづくりや施策の展開等に役立てるため。

### 9 「こうだったらいいのにな」と思うことについて(自由記載)

家族や学校、地域に対して思うことについての設問。



## 地域・子ども関連団体、民間団体や学校等に対するアンケート調査について

### ○対象者

- ⑤地域・子ども関連団体
- ⑥認定こども園、幼稚園、保育所(園)、学校

### ○地域・子ども関連団体等を対象にアンケート調査を行う意義

子育てに関する活動を行うNPO、子育てサークルや子ども会等をはじめとする様々な地域活動団体等の民間事業者、子育て支援等を通じた地域への貢献を希望する高齢者や育児経験豊かな主婦その他の地域人材などの社会資源を効果的に活用し、自治体のみならず地域や学校等と連携した取組が重要であると考えられるため。

### ○設問(案)

⑤地域・子ども関連団体

⑥認定こども園、幼稚園、保育所(園)、学校

#### 1 所属団体について

記入者の所属団体の種類についての設問。

# アンケート調査項目の概要について

## 地域・子ども関連団体、民間団体や学校等に対するアンケート調査について

### ⑤地域・子ども関連団体

### ⑥認定こども園、幼稚園、保育所(園)、学校

#### 2 所属団体の活動内容について(自由記載)【⑤地域・子ども関連団体のみ】

記入者の所属する団体の支援対象年齢や活動目的・内容、活動実績についての設問。

#### 3 子どももしくは子育て家庭に対して必要な支援について(自由記載)

記入者の所属団体において、現在の子どもの状況を踏まえ、子ども本人若しくは子育て家庭に対し必要と考える支援の内容についての設問。

#### 4 子どももしくは子育て家庭に対して取り組んでいる内容について(自由記載)

記入者の所属団体において、現在の子どもの状況を踏まえ、子ども本人若しくは子育て家庭に対して取り組んでいる内容やそれを進めるにあたり、必要と思うもの(こと)についての設問。

#### 5 所属団体が活動を推進するために望むことについて(自由記載)

記入者の所属団体が、子ども自身や家庭、地域社会に望むことについての設問。

#### 6 行政サービスへ期待することについて(自由記載)

子ども支援・子育て支援に関する意見・要望等についての設問。

